

形名	LEET-77202-WD9	(無線制御 調光用)
----	----------------	------------

明るさタイプ	色温度	適合LEDバー形名
11,000lmタイプ	5000K	LEEM-3-71101N-01
	4000K	LEEM-3-71101W-01
	3500K	LEEM-3-71101WW-01
	3000K	LEEM-3-71101L-01
9,000lmタイプ	5000K	LEEM-3-70901N-01
	4000K	LEEM-3-70901W-01
	3500K	LEEM-3-70901WW-01
	3000K	LEEM-3-70901L-01
6,500lmタイプ	5000K	LEEM-3-70651N-01
	4000K	LEEM-3-70651W-01
	3500K	LEEM-3-70651WW-01
	3000K	LEEM-3-70651L-01

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。照明器具への電源線が損傷を受けた時は、必ず電気工事店に依頼してください。電気工事の有資格者による交換が必要になります。

・お客様はお読みになったあと必ず保管してください。

工事店様へ 施工上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	●この器具は天井直付埋込兼用器具です。傾斜天井、壁面には取り付けない。(器具落下の原因)
	●器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外で使用しない。(故障・火災の原因)
	●器具を改造したり、部品を変更しない。(落下・感電・火災の原因)
	・この器具は断熱施工不可です。 
	●断熱施工される場合、取扱説明書内の「断熱材・防音材の施工方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。
	●屋内専用で5℃～35℃の範囲で使用してください。(火災の原因)
	●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因となります。
	●器具の取り付けは、質量に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。(器具落下の原因)
	●電源電線は、確実に挿し込む。(発熱・火災の原因)
	●調光制御装置には必ず適合する機種を組み合わせる。(誤動作、火災の原因)
	●器具取り付けの際は手袋を着用すること。(けがの原因)
	●V反射板の落下防止ひもを取り付ける。(落下の原因)

お客様へ 使用上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	●器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない。(火災の原因)
	●器具のすきまなどに針金などを差し込まない。(けが・感電・火災の原因)
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	●金属部分をクレンザーやたれしでみがかない。(傷・腐食の原因)
	●ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。(破損・落下・感電の原因)
	●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。(感電の原因)
	●器具のお手入れは、乾いた柔らかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってから行ってください。(メッキ部分は乾いた布でふいてください。)
	●照明器具には耐用年数があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年数が短くなります。 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。) 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

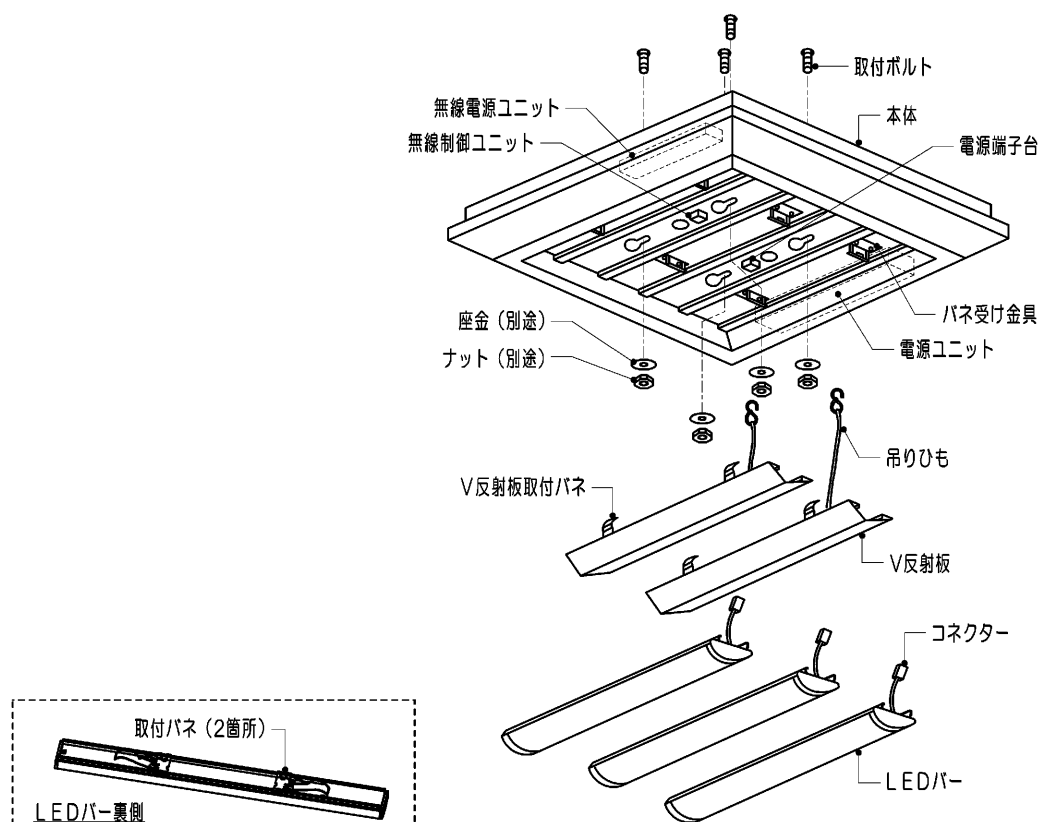
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	●屋外や軒下、湿気や水気のある場所で使用しない。(絶縁不良・感電の原因)
	●一般屋内用照明器具です。直接、雨・風のあたる場所や湿気のある場所、振動や衝撃のある場所、粉塵の発生する場所(工場やトンネル内にある駅ホーム等)、腐食性ガス・塩素ガス・硫黄成分などの発生する場所、オイルミストが発生する環境下などには使用しないでください。
	●器具を密閉した空間で使用しないでください。(LED早期故障の原因)

お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 点灯直後・消灯直後に「ピシ、ピシ」「ブツ、ブツ」等のプラスチックの伸縮によるさしきみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のLEDバーでも光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合、LEDバー内に虫が侵入する恐れがあります。

■各部のなまえ

器具質量
7.2Kg

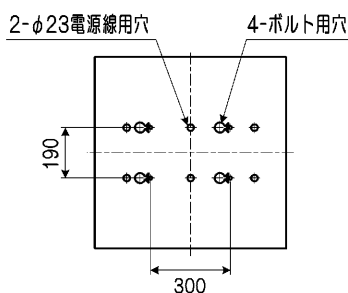


- この器具は本体とLEDパネルは別梱包・別売です。

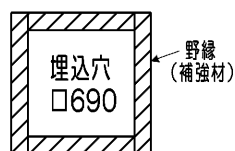
■器具の取り付けかた

1 器具の取付方法

(単位mm)



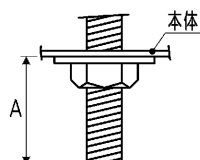
埋込施工の場合の埋込穴寸法



※埋込施工時は埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組み込んでください。

3 取付ボルトの器具内寸法

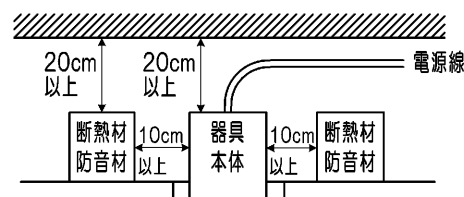
A寸法は、25mmを超えないようにしてください。



2 断熱材・防音材の施工方法

断熱材・防音材・造営材と右図のような空間を設けて施工してください。(第1図)

- 電気配線は断熱材防音材の上側にくるように配線してください。
- 器具本体に電源線を接触させないでください。



第1図

■本体の取り付けかた

4 本体の取り付けかた

- ① V反射板を第6図のV反射板の取りはずしかたで、本体よりはずしてください。

V反射板の下に端子台、電源穴、取付穴があります。

- ② 本体を取付ボルトで確実に取り付けてください。(第2図)
(取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)

不備がありますと、器具落下の原因となります。

(注) 本体施工時に片側の取付ボルトで取り付けした状態を放置しないでください。
本体変形の原因となります。

(注) 取付ボルトのナットを締めすぎますと、器具が変形する場合がありますので、
器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

- ③ 適合サイズの電源線、アース線を電源用端子台に確実に差し込んでください。(第3図)
※棒状端子を使用しないでください。

D種(第3種)接地工事が必要です。接地工事を確実に行わないと感電の恐れがあります。
※電源ユニットの二次電圧が150Vを超える場合があります。入力100V使用時でも
アース工事は確実に行ってください。

●電源線を電源用端子台からリリースする場合は、マイナスドライバーで電源用端子台の
リリースボタンをまっすぐに押して、電源線を引き抜いてください。(第4図)
(注) リリースの最中にマイナスドライバーを強く傾けると電源用端子台が破損する場合があります。

不完全な場合やリリースボタン以外を押した場合には、電源用端子台が
破損または接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

●電源用端子台の送り容量は、表1の通りです。

容量を超えると発熱、火災の原因となります。

- ④ V反射板の落下防止ひもの先のフックを器具内面の切り起こしに引っ掛け、
V反射板を器具に吊り下げてください。(第5図)
ひもの先のフックをペンチなどで開けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

V反射板を真上に押し上げ、本体に確実に取り付けてください(第6図)
V反射板の脱着用切り欠きが内側になるように取り付けてください。(第7図)
下記の■LEDバーの取り付けかたに従ってLEDバーを取り付けてください。

・V反射板を取りはずす場合
下記の■LEDバーのはずしかたに従って、LEDバーをはずしてください。
V反射板の切り欠きにマイナスドライバーを①の方向に差し込み、矢印②の
方向に押しはすしてください。(第8図)

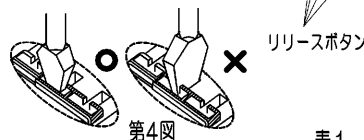
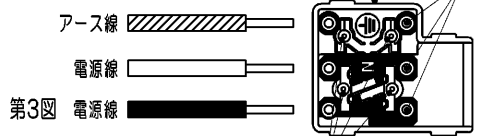
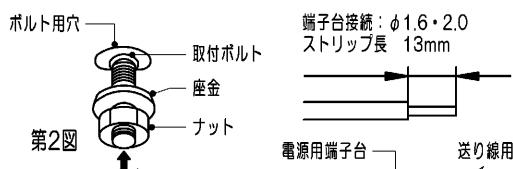
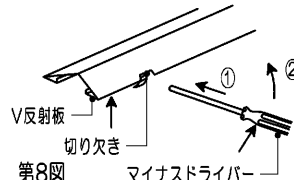
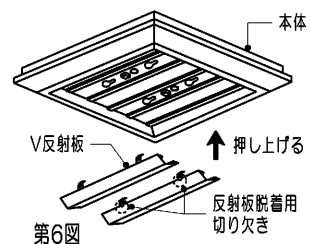
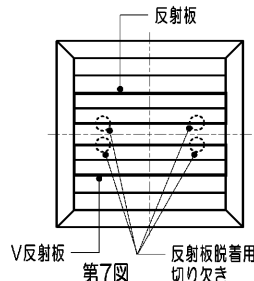
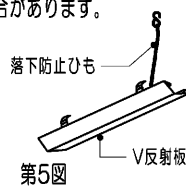


表1

明るさタイプ	送り容量
11,000lm	18A以下
9,000lm	
6,500lm	



■LEDバーの取り付けかた・はずしかた

1 LEDバーの取り付けかた

- ① 本体とLEDバーのコンネクターの位置を合せ、LEDバー背面にある取付パネを
器具のパネ受け金具に引っ掛け、LEDバーを本体に吊り下げてください。(第9図)
※コンネクターや電線を持ってLEDバーを取り付けないでください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

LEDバーをひねらないでください。

- ② コンネクター接続の際は必ず電源を切ってから行ってください。
コンネクターを確実に接続してください。

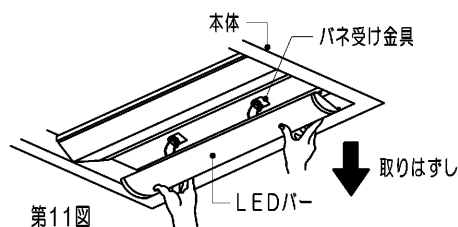
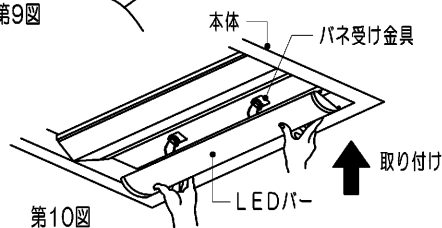
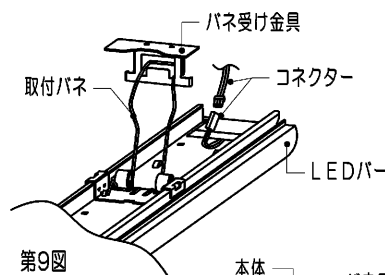
- ③ LEDバー取付パネ(2箇所)の位置を押し上げ、本体に確実に取り付け
てください。(第10図)

天井が歪んでいると正常に取り付かないことがあります。
※余った電線はLEDバーを取り付ける際に挟み込まないよう注意してください。
※コンネクターをLEDバーや本体内の部品で挟まないよう注意してください。
本体とLEDバーの間に隙間がある場合、コンネクターを挟んでいないことを
確認してください。

不備がありますと、不点灯や発熱、火災の原因となります。

2 LEDバーのはずしかた

- ① LEDバーを引き下げてください。(第11図)
② 取付パネを本体のパネ受け金具に引っ掛け、LEDバーを器具に
吊り下げてください。
③ コンネクターをはずしてください。
コンネクターをはずす際は必ず電源を切ってから行ってください。
④ LEDバーの取付パネを、本体のパネ受け金具から取りはずしてください。



■基本特性（定格性能周囲温度（25℃時））

●入力特性

明るさタイプ	11,000lmタイプ			9,000lmタイプ			6,500lmタイプ		
入力電圧 (V)	100	200	242	100	200	242	100	200	242
入力電流 (A)	0.767	0.384	0.325	0.667	0.335	0.284	0.513	0.260	0.222
定格消費電力 (W)	76.5	74.5	74.5	66.5	64.5	64.5	51.0	49.5	49.5

■無線制御 調光用の製品について

- ・施工上及び使用上の注意は、無線エリアコントローラーの取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は、電波法に基づく特定小電力無線通信システムの無線局の端末設備として技術基準適合証明等を受けた部品が内蔵されています。本製品に内蔵している適合した部品を分解、改造すると法律で罰せられることがあります。分解、改造はしないでください。
- ・器具に貼ってある番号シールをはがさないでください。

■920MHz免責事項

- ・本装置の故障、誤動作、不具合、或いは停電時の外部要因によって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意、過失および誤用、取り付け不備、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、集団輸送システム、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より（引き渡し日）3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 （通話料：無料）

携帯電話 046-862-2772 （通話料：有料）

FAX 0570-000-661 （通信料：有料）

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

・お客様からご提供いただいた個人情報とは、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 B003AA004301AF